

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7133591号
(P7133591)

(45)発行日 令和4年9月8日(2022.9.8)

(24)登録日 令和4年8月31日(2022.8.31)

(51)国際特許分類 F I
G 0 6 Q 10/08 (2012.01) G 0 6 Q 10/08 3 0 0

請求項の数 9 (全26頁)

(21)出願番号	特願2020-144935(P2020-144935)	(73)特許権者	000005326 本田技研工業株式会社 東京都港区南青山二丁目1番1号
(22)出願日	令和2年8月28日(2020.8.28)	(74)代理人	100165179 弁理士 田崎 聡
(65)公開番号	特開2022-39758(P2022-39758A)	(74)代理人	100126664 弁理士 鈴木 慎吾
(43)公開日	令和4年3月10日(2022.3.10)	(74)代理人	100154852 弁理士 酒井 太一
審査請求日	令和3年3月30日(2021.3.30)	(74)代理人	100194087 弁理士 渡辺 伸一
		(72)発明者	近藤 和希 東京都港区南青山二丁目1番1号 本田 技研工業株式会社内
		(72)発明者	古市 芳子

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 輸送仲介装置、輸送仲介方法、およびプログラム

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

出品者が利用する第1端末装置から前記出品者により出品される車両の輸送に関する手数料を含む販売価格情報を第1仲介情報として取得する取得部と、

前記取得部により取得された前記第1仲介情報を前記車両を購入する購入者が利用する第2端末装置に提供することによって、前記出品者と、前記購入者との間で前記車両の売買が成立した場合に、予め決められた複数の輸送パターンのうち、前記購入者によって選択された輸送パターンによって前記車両を輸送する輸送者を割り当てる割当部と、

前記割当部により割り当てられた輸送者が利用する第3端末装置に前記車両に関する情報および輸送の出発地から目的地までの経路を示す情報を提供する情報提供部と、を備え、前記複数の輸送パターンは、前記車両を自走させて輸送する輸送パターンと、前記車両を搬送車両に積載して輸送する輸送パターンとを含み、

前記購入者と、前記購入者によって選択された輸送パターンによって前記車両の輸送が可能な輸送者とを仲介するための第2仲介情報を生成する仲介部を更に備え、

前記情報提供部は、前記仲介部により生成された前記第2仲介情報を前記第3端末装置に提供し、

前記割当部は、前記第2仲介情報に対する前記輸送者からの登録情報に基づいて前記車両を輸送する輸送者を割り当て、

更に前記割当部は、前記購入者によって選択された輸送パターンによって前記車両を輸送する輸送者が割り当てられない場合に、前記第2端末装置に、前記購入者が前記車両を引

き取りに行けるか否かを、仮に引き取りに行った場合の購入金額からの減額情報も含めて提示して、前記購入者に問い合わせる、

輸送仲介装置。

【請求項 2】

前記割当部は、前記出品者の指定位置から前記購入者の指定位置まで、前記車両を運転して輸送する第 1 輸送者を割り当てる、

請求項 1 に記載の輸送仲介装置。

【請求項 3】

前記購入者によって選択された輸送パターンに、前記車両を運搬車両に積載して輸送することが含まれる場合、前記割当部は、前記出品者の指定位置から前記運搬車両が前記車両を積載する地点まで前記車両を運転して輸送する第 2 輸送者を割り当てる、

請求項 1 に記載の輸送仲介装置。

【請求項 4】

前記割当部は、前記車両を積載して輸送する運搬車両を運転する第 3 輸送者を割り当てる、

請求項 3 に記載の輸送仲介装置。

【請求項 5】

前記割当部は、前記運搬車両から前記車両を降ろした地点から前記購入者の指定位置まで前記車両を運転して輸送する第 4 輸送者を割り当てる、

請求項 4 に記載の輸送仲介装置。

【請求項 6】

前記割当部は、前記出品者に前記車両の輸送の可否を問い合わせる、

請求項 1 に記載の輸送仲介装置。

【請求項 7】

前記割当部は、前記車両の対応付けられた保険が適用される条件を満たす前記輸送者を割り当てる、

請求項 1 に記載の輸送仲介装置。

【請求項 8】

コンピュータが、

出品者が利用する第 1 端末装置から前記出品者により出品される車両の輸送に関する手数料を含む販売価格情報を第 1 仲介情報として取得し、

取得した前記第 1 仲介情報を前記車両を購入する購入者が利用する第 2 端末装置に提供することによって、前記出品者と、前記購入者との間で前記車両の売買が成立した場合に、予め決められた複数の輸送パターンのうち、前記購入者によって選択された輸送パターンによって前記車両を輸送する輸送者を割り当て、

割り当てた輸送者が利用する第 3 端末装置に前記車両に関する情報および輸送の出発地から目的地までの経路を示す情報を提供し、

前記複数の輸送パターンは、前記車両を自走させて輸送する輸送パターンと、前記車両を搬送車両に積載して輸送する輸送パターンとを含み、

更に前記購入者と、前記購入者によって選択された輸送パターンによって前記車両の輸送が可能な輸送者とを仲介するための第 2 仲介情報を生成し、

生成した前記第 2 仲介情報を前記第 3 端末装置に提供し、

前記第 2 仲介情報に対する前記輸送者からの登録情報に基づいて前記車両を輸送する輸送者を割り当て、

前記購入者によって選択された輸送パターンによって前記車両を輸送する輸送者が割り当てられない場合に、前記第 2 端末装置に、前記購入者が前記車両を引き取りに行けるか否かを、仮に引き取りに行った場合の購入金額からの減額情報も含めて提示して、前記購入者に問い合わせる、

輸送仲介方法。

【請求項 9】

10

20

30

40

50

コンピュータに、
 出品者が利用する第1端末装置から前記出品者により出品される車両の輸送に関する手数料を含む販売価格情報を第1仲介情報として取得させ、
 取得された前記第1仲介情報を前記車両を購入する購入者が利用する第2端末装置に提供することによって、前記出品者と、前記購入者との間で前記車両の売買が成立した場合に、予め決められた複数の輸送パターンのうち、前記購入者によって選択された輸送パターンによって前記車両を輸送する輸送者を割り当てさせ、

割り当てられた輸送者が利用する第3端末装置に前記車両に関する情報および輸送の出発地から目的地までの経路を示す情報を提供させ、

前記複数の輸送パターンは、前記車両を自走させて輸送する輸送パターンと、前記車両を搬送車両に積載して輸送する輸送パターンとを含み、

更に前記購入者と、前記購入者によって選択された輸送パターンによって前記車両の輸送が可能な輸送者とを仲介するための第2仲介情報を生成させ、

生成された前記第2仲介情報を前記第3端末装置に提供させ、

前記第2仲介情報に対する前記輸送者からの登録情報に基づいて前記車両を輸送する輸送者を割り当てさせ、

前記購入者によって選択された輸送パターンによって前記車両を輸送する輸送者が割り当てられない場合に、前記第2端末装置に、前記購入者が前記車両を引き取りに行けるか否かを、仮に引き取りに行った場合の購入金額からの減額情報も含めて提示して、前記購入者に問い合わせる、

プログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、輸送仲介装置、輸送仲介方法、およびプログラムに関する。

【背景技術】

【0002】

従来では、出品者（販売希望者）が入力した商品情報と、購入希望者が入力した購入希望情報とに基づいてマッチングを行い、販売希望者と購入希望者との個人間売買を仲介するシステムが知られている（例えば、特許文献1参照）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【文献】特開2005-115434号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

売買が成立し、購入者に引き渡す商品が車両である場合には、小さな商品よりも体積や重量が大きく、また自走も可能であるため、小さな商品や自走ができない商品とは異なる輸送が必要になる。しかしながら、従来の技術では、売買が成立した車両の輸送を効率的に手配することについては、考慮されていなかった。

【0005】

本発明の態様は、このような事情を考慮してなされたものであり、個人間売買によって売買が成立した車両の輸送を手配し易くすることができる輸送仲介装置、輸送仲介方法、およびプログラムを提供することを目的の一つとする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

この発明に係る輸送仲介装置、輸送仲介方法、およびプログラムは、以下の構成を採用した。

(1)：この発明の一態様に係る輸送仲介装置は、車両を出品した出品者と、前記車両

10

20

30

40

50

を購入する購入者とを仲介するための第1仲介情報によって前記車両の売買が成立した場合に、前記車両を輸送する輸送者を割り当てる割当部と、前記割当部により割り当てられた輸送者に前記車両の輸送させるための情報を提供する情報提供部と、を備える輸送仲介装置である。

【0007】

(2)：上記(1)の態様において、前記車両の購入者と、前記車両の輸送者とを仲介するための第2仲介情報を生成する仲介部を更に備え、前記情報提供部は、前記仲介部により生成された前記第2仲介情報を提供し、前記割当部は、前記情報提供部により提供された前記第2仲介情報に基づいて前記車両を輸送する輸送者を割り当てるものである。

【0008】

(3)：上記(1)の態様において、前記割当部は、前記出品者の指定位置から前記購入者の指定位置まで、前記車両を運転して輸送する第1輸送者を割り当てるものである。

【0009】

(4)：上記(1)の態様において、前記割当部は、前記出品者の指定位置から前記車両を積載して運搬する運搬車両が前記車両を積載する地点まで前記車両を運転して輸送する第2輸送者を割り当てるものである。

【0010】

(5)：上記(4)の態様において、前記割当部は、前記車両を運搬する運搬車両を運転する第3輸送者を割り当てるものである。

【0011】

(6)：上記(5)の態様において、前記割当部は、前記運搬車両から前記車両を降ろした地点から前記購入者の指定位置まで前記車両を運転して輸送する第4輸送者を割り当てるものである。

【0012】

(7)：上記(1)の態様において、前記第1仲介情報は、前記車両の販売価格を示す情報を含み、前記販売価格は、前記車両の輸送に関する手数料を含むものである。

【0013】

(8)：上記(1)の態様において、前記割当部は、前記出品者または前記購入者に前記車両の輸送の可否を問い合わせるものである。

【0014】

(9)：上記(1)の態様において、前記割当部は、前記車両の対応付けられた保険が適用される条件を満たす前記輸送者を割り当てるものである。

【0015】

(10)：本発明の他の態様は、コンピュータが、コンピュータが、車両を出品した出品者と、前記車両を購入する購入者とを仲介するための第1仲介情報によって前記車両の売買が成立した場合に、前記車両を輸送する輸送者を割り当て、割り当てた前記輸送者に前記車両の輸送させるための情報を提供する、輸送仲介方法である。

【0016】

(11)：本発明の他の態様は、コンピュータに、車両を出品した出品者と、前記車両を購入する購入者とを仲介するための第1仲介情報によって前記車両の売買が成立した場合に、前記車両を輸送する輸送者を割り当てさせ、割り当てられた前記輸送者に前記車両の輸送させるための情報を提供させる、プログラムである。

【発明の効果】

【0017】

上記(1)～(11)の態様によれば、個人間売買によって売買が成立した車両の輸送を手配し易くすることができる。

【図面の簡単な説明】

【0018】

【図1】実施形態の輸送仲介装置を含む仲介システム1の構成図である。

【図2】利用者情報182の内容について説明するための図である。

10

20

30

40

50

【図 3】実施形態の第 1 端末装置 200 および第 2 端末装置 300 の構成図である。

【図 4】実施形態の第 3 端末装置 400 の構成図である。

【図 5】第 1 端末装置 200 に表示される画像 IM10 の一例を示す図である。

【図 6】撮像部 260 により撮像された画像の一例を示す図である。

【図 7】出品情報 DB184 の内容について説明するための図である。

【図 8】第 2 端末装置 300 に表示される画像 IM30 の一例を示す図である。

【図 9】車両 M の輸送パターンを選択させるための画像 IM40 の一例を示す図である。

【図 10】複数の輸送パターンについて説明するための図である。

【図 11】売買履歴情報 186 の内容について説明するための図である。

【図 12】輸送情報 188 の内容について説明するための図である。

10

【図 13】第 3 端末装置 400 に表示される画像 IM50 の一例を示す図である。

【図 14】購入者 U2 に輸送を依頼する画像 IM60 の一例を示す図である。

【図 15】仲介サーバ 100 のコンピュータにより実行される第 1 処理の流れの一例を示すフローチャートである。

【図 16】仲介サーバ 100 のコンピュータにより実行される第 2 処理の流れの一例を示すフローチャートである。

【発明を実施するための形態】

【0019】

以下、図面を参照し、本発明の輸送仲介装置、輸送仲介方法、およびプログラムの実施形態について説明する。以下では、売買される物品（商品）の一例として車両を用いることとするが、他の物品であってもよい。車両は、例えば、二輪や三輪、四輪等の車両であり、その駆動源は、ディーゼルエンジンやガソリンエンジン等の内燃機関、電動機、或いはこれらの組み合わせである。電動機は、内燃機関に連結された発電機による発電電力、或いは二次電池や燃料電池の放電電力を使用して動作する。他の物品には、例えば、輸送者の操縦により自らが移動可能な移動体（例えば、飛行体、船舶、ロボット）が含まれる。

20

【0020】

図 1 は、実施形態の輸送仲介装置を含む仲介システム 1 の構成図である。仲介システム 1 は、例えば、仲介サーバ 100 と、仲介システム 1 の第 1 利用者 U1 が利用する第 1 端末装置 200 と、第 2 利用者 U2 が利用する第 2 端末装置 300 と、第 3 利用者 U3 が利用する第 3 端末装置 400 とを備える。これらの構成要素は、ネットワーク NW を介して互いに通信可能である。ネットワーク NW は、インターネット、WAN (Wide Area Network)、LAN (Local Area Network)、電話回線、公衆回線、専用回線、プロバイダ装置、無線基地局等を含む。第 1 利用者 U1 は、例えば、仲介システム 1 が提供する仲介サービスに販売を目的として車両 M を出品する出品者である。第 2 利用者 U2 は、例えば、車両 M の購入を予定している購入予定者および車両 M を購入した購入者である。第 3 利用者 U3 は、例えば、第 1 利用者 U1 が出品した車両 M を第 2 利用者 U2 が購入した場合に、第 1 利用者 U1 の車両 M を第 2 利用者 U2 へ輸送する輸送者である。以下、第 1 利用者 U1 を「出品者 U1」と称し、第 2 利用者 U2 を「購入者 U2」と称し、第 3 利用者 U3 を「輸送者 U3」と称して説明する。第 1 端末装置 200 および第 2 端末装置 300 は、例えば、スマートフォンやタブレット端末等の携帯端末でもよく、据え置き型の PC (Personal Computer) 等でもよい。第 3 端末装置 400 は、例えば、上記携帯端末である。仲介システム 1 には、複数の第 1 端末装置 200、第 2 端末装置 300、および第 3 端末装置 400 が含まれてもよい。仲介サーバ 100 は、「輸送仲介装置」の一例である。仲介サーバ 100 は、例えば、個人間売買の仲介業者によって管理されてもよく、車両販売業者（例えば、ディーラー）やオークション管理業者等によって管理されてもよく、車両 M を輸送する物流業者によって管理されていてもよい。

30

40

【0021】

[仲介サーバ]

仲介サーバ 100 は、例えば、通信部 110 と、認証部 120 と、取得部 130 と、仲介部 140 と、情報提供部 150 と、割当部 160 と、処理部 170 と、記憶部 180 と

50

を備える。取得部 130 と、仲介部 140 と、情報提供部 150 と、割当部 160 と、処理部 170 とは、例えば、CPU (Central Processing Unit) 等のハードウェアプロセッサがプログラム (ソフトウェア) を実行することにより実現される。また、これらの構成要素のうち一部または全部は、LSI (Large Scale Integration) やASIC (Application Specific Integrated Circuit)、FPGA (Field-Programmable Gate Array)、GPU (Graphics Processing Unit) 等のハードウェア (回路部; circuitry を含む) によって実現されてもよいし、ソフトウェアとハードウェアの協働によって実現されてもよい。プログラムは、予め HDD (Hard Disk Drive) やフラッシュメモリ等の記憶装置 (非一過性の記憶媒体を備える記憶装置) に格納されていてもよいし、DVD や CD-ROM 等の着脱可能な記憶媒体 (非一過性の記憶媒体) に格納されており、記憶媒体がドライブ装置等に装着されることで仲介サーバ 100 の記憶装置にインストールされてもよい。仲介サーバ 100 は、例えば、第 1 端末装置 200、第 2 端末装置 300、および第 3 端末装置 400 と、ネットワーク NW を介して互いに通信し、各種データを送受信するクラウドサーバとして機能してもよい。

10

【0022】

記憶部 180 は、上記の各種記憶装置、或いはEEPROM、ROM、RAM等により実現されてよい。記憶部 180 には、例えば、利用者情報 182、出品情報 DB 184、売買履歴情報 186、輸送情報 188、プログラム、その他各種情報が格納される。利用者情報 182、出品情報 DB 184、売買履歴情報 186、および輸送情報 188 の詳細については後述する。

20

【0023】

通信部 110 は、ネットワーク NW を介して第 1 端末装置 200、第 2 端末装置 300、第 3 端末装置 400、その他の外部装置と通信する。

【0024】

認証部 120 は、仲介システム 1 を利用する利用者 (例えば図 1 に示す出品者 U1、購入者 (購入予定者も含む) U2、輸送者 U3) に関する情報 (利用者情報 182) を登録する。認証部 120 は、第 1 端末装置 200、第 2 端末装置 300、または第 3 端末装置 400 から利用者登録要求を受け付けた場合に、利用者情報 182 に含まれる各種情報を入力するための画像を生成して、登録要求を受け付けた端末装置に表示させ、端末装置から入力される利用者に関する情報を取得する。また、認証部 120 は、第 1 端末装置 200、第 2 端末装置 300、第 3 端末装置 400 から取得した利用者に関する情報を記憶部 180 の利用者情報 182 に登録する。

30

【0025】

図 2 は、利用者情報 182 の内容について説明するための図である。利用者情報 182 は、例えば、仲介システム 1 の利用時等に利用者を認証する認証情報に対して、住所、氏名、年齢、性別、連絡先、運転免許情報等の情報が対応付けられたものである。認証情報には、例えば、利用者を識別する識別情報である利用者 ID やパスワード等が含まれる。また、認証情報には、指紋情報や虹彩情報等の生体認証情報が含まれてもよい。連絡先は、例えば、当該利用者に対応付けられた端末装置に割り当てられた電話番号やメールアドレス、端末識別情報等である。仲介サーバ 100 は、連絡先の情報に基づいて、第 1 端末装置 200、第 2 端末装置 300、および第 3 端末装置 400 と通信したり、それらに情報を提供することができる。運転免許情報には、例えば、利用者が運転可能な車種や免許の有効期限に関する情報が含まれる。利用者情報 182 に登録された利用者は、出品者 U1 として車両を出品してもよく、購入者 U2 として出品された車両に関する情報を閲覧したり車両を購入してもよく、輸送者 U3 として車両を輸送してもよい。

40

【0026】

認証部 120 は、予め登録しておいた利用者情報 182 に基づいて仲介システム 1 のサービスを利用する利用者の認証を行う。例えば、認証部 120 は、第 1 端末装置 200、第 2 端末装置 300、または第 3 端末装置 400 からサービスの利用要求を受け付けたタイミングで利用者の認証を行う。例えば、認証部 120 は、利用要求を受け付けた場合に

50

、利用者IDやパスワード等の認証情報を入力する認証画像を生成し、生成した画像を要求のあった端末装置に表示させると共に、表示された画像を用いて入力された入力認証情報に基づいて利用者情報182の認証情報を参照し、入力認証情報に合致する認証情報が格納されているか否かによって、サービスの利用を許可するか否かを判定する。例えば、認証部120は、入力認証情報に合致する認証情報が利用者情報182に含まれる場合にはサービスの利用を許可し、合致する情報が含まれていない場合にはサービスの利用を拒否するか、新規登録を行わせるための処理を行う。

【0027】

図1に戻り、取得部130は、第1端末装置200から出品者U1が出品する車両Mに関する情報を取得する。車両Mに関する情報には、例えば、車両Mの車種、年式、走行距離、色、外傷度合、汚損度合、車両Mの修復情報のうち少なくとも一つの情報が含まれる。年式は、例えば、車両Mのモデル年式でもよく、車両Mが製造されて新車として初めて運輸支局に登録された年月（初度登録年月）であってもよい。走行距離は、車両Mの積算走行距離である。色は、例えば、車両M本体の色である。また、色には、車両M本体の色に加えて、車室内の各部の色（例えば、シート、インストルメントパネル、ステアリングホイール等）が含まれてもよい。外傷度合は、例えば、車外から車両Mを見たときの傷の大きさや程度を示す指標値である。汚損度合は、例えば、車両本体の汚れの程度を示す指標値でもよく、車室内（内装等）の汚れの程度を示す指標値でもよく、その両方を組み合わせた指標値でもよい。修復情報とは、例えば、車両Mの修理または改造をした位置や時期、修復内容、費用等に関する情報である。また、車両Mに関する情報には、上述の情報に加えて、出品者U1の販売希望価格を示す情報や、車両Mの売買が成立した場合の車両Mの引き渡し地点に関する情報が含まれてよい。取得部130は、例えば、出品者U1が第1端末装置200に表示された出品情報入力画面を用いて入力された情報から車両Mに関する情報を取得する。

【0028】

また、取得部130は、購入者（この時点では購入予定者）U2が利用する第2端末装置300から、車両Mの購入希望価格に関する情報を取得したり、個人間売買成立後に購入者U2から車両Mの輸送に関する情報を取得してもよい。また、取得部130は、輸送者U3が利用する第3端末装置400から、個人間売買が成立した車両Mの輸送の登録や輸送処理に関する情報を取得してもよい。

【0029】

仲介部140は、例えば、取得部130により取得された車両Mに関する情報に基づいて、出品者U1と購入者U2とを仲介するための第1仲介情報を生成する。また、仲介部140は、出品者U1と購入者U2との間で車両Mの売買が成立した場合に、購入者U2と車両Mを輸送する輸送者U3とを仲介するための第2仲介情報を生成する。

【0030】

情報提供部150は、第1端末装置200、第2端末装置300、および第3端末装置400に各種情報を提供する。例えば、情報提供部150は、出品する車両Mに関する情報を入力させるための画像を生成し、生成した画像を第1端末装置200に表示させる。また、情報提供部150は、仲介部140により生成された第1仲介情報や第2仲介情報を、ネットワークNWを介して外部装置（例えば、図1に示す第1端末装置200、第2端末装置300、第3端末装置400）に閲覧可能な状態で提供する。また、情報提供部150は、第2端末装置300に購入希望価格を入力させるための画像を生成し、生成した画像を第2端末装置300に表示させてもよい。また、情報提供部150は、第3端末装置400に車両Mを輸送させるための画像を生成し、生成した画像を第3端末装置400に表示させてもよい。

【0031】

割当部160は、第1仲介情報によって出品者U1と購入者U2との間で車両Mの売買が成立した場合に、車両Mを輸送する輸送者U3を割り当てる。

【0032】

10

20

30

40

50

処理部 170 は、車両 M の購入に関する処理や、輸送後の手数料の支払いに関する処理を行う。車両 M の購入に関する処理には、例えば、購入価格に相当する金額を購入者 U2 が指定した銀行口座から引き落とし、引き落とした金額を出品者 U1 が指定した銀行口座に振り込む等の精算処理が含まれる。なお、処理部 170 は、引き落とした金額のうち一部の金額を仲介手数料として取得し、残りの金額を出品者 U1 が指定した銀行口座に振り込んでよい。輸送後の手数料の支払いに関する処理には、例えば、車両 M の輸送が完了した後に、輸送者 U3 が指定した銀行口座に輸送手数料を振り込む処理が含まれる。輸送手数料は、購入価格に含まれていてもよい。

【0033】

また、処理部 170 は、第 1 端末装置 200 から得られる車両 M に関する情報に基づいて、車両 M の査定を行ってもよい。取得部 130、仲介部 140、情報提供部 150、割当部 160、および処理部 170 による出品車両の登録、閲覧、購入、輸送に関する処理の詳細については後述する。

【0034】

[第 1 端末装置、第 2 端末装置]

次に、第 1 端末装置 200 および第 2 端末装置 300 の構成について説明する。なお、第 1 端末装置 200 および第 2 端末装置 300 は、同一の構成要素を備えるため、以下では、第 1 端末装置 200 と第 2 端末装置 300 の構成を纏めて説明するものとする。

【0035】

図 3 は、実施形態の第 1 端末装置 200 および第 2 端末装置 300 の構成図である。第 1 端末装置 200 および第 2 端末装置 300 は、例えば、端末側通信部 210 と、入力部 220 と、ディスプレイ 230 と、スピーカ 240 と、マイク 250 と、位置取得部 255 と、撮像部 260 と、アプリ実行部 270 と、出力制御部 280 と、端末側記憶部 290 とを備える。位置取得部 255 と、アプリ実行部 270 と、出力制御部 280 とは、例えば、CPU 等のハードウェアプロセッサがプログラム（ソフトウェア）を実行することにより実現される。また、これらの構成要素のうち一部または全部は、LSI や ASIC、FPGA、GPU 等のハードウェア（回路部；circuitry を含む）によって実現されてもよいし、ソフトウェアとハードウェアの協働によって実現されてもよい。プログラムは、予め HDD やフラッシュメモリ等の記憶装置（非一過性の記憶媒体を備える記憶装置）に格納されていてもよいし、DVD や CD-ROM 等の着脱可能な記憶媒体（非一過性の記憶媒体）に格納されており、記憶媒体がドライブ装置やカードスロット等に装着されることで第 1 端末装置 200 および第 2 端末装置 300 の記憶装置にインストールされてもよい。

【0036】

端末側記憶部 290 は、上記の各種記憶装置、或いは EEPROM、ROM、RAM 等により実現されてもよい。端末側記憶部 290 には、例えば、売買仲介アプリ 292、プログラム、その他各種情報が格納される。

【0037】

端末側通信部 210 は、例えば、ネットワーク NW を利用して、仲介サーバ 100、その他の外部装置と通信を行う。

【0038】

入力部 220 は、例えば、各種キーやボタン等の操作による利用者（出品者 U1、購入者 U2）の入力を受け付ける。ディスプレイ 230 は、例えば、LCD（Liquid Crystal Display）や有機 EL（Electro Luminescence）ディスプレイ等である。入力部 220 は、タッチパネルとしてディスプレイ 230 と一体に構成されていてもよい。ディスプレイ 230 は、出力制御部 280 の制御により、実施形態における各種情報を表示する。スピーカ 240 は、例えば、出力制御部 280 の制御により、所定の音声を出力する。マイク 250 は、例えば、出力制御部 280 の制御により、利用者の音声の入力を受け付ける。

【0039】

位置取得部 255 は、内蔵された GPS（Global Positioning System）装置（不図示

10

20

30

40

50

により端末装置（第1端末装置200または第2端末装置300）の位置情報を取得する。位置情報とは、例えば、二次元の地図座標でもよく、緯度経度情報でもよい。位置取得部255は、取得した位置情報を仲介サーバ100に送信してもよい。

【0040】

撮像部260は、例えば、CCD（Charge Coupled Device）やCMOS（Complementary Metal Oxide Semiconductor）等の固体撮像素子（イメージセンサ）を利用したデジタルカメラである。撮像部260は、例えば、利用者の操作によって、出品する車両Mの本体または車室内の所定の領域を含む画像を撮像する。

【0041】

アプリ実行部270は、端末側記憶部290に記憶された売買仲介アプリ292が実行されることで実現される。売買仲介アプリ292は、仲介サーバ100から提供された画像をディスプレイ230に出力させたり、仲介サーバ100から提供された情報に対応する音声をスピーカ240から出力させるように、出力制御部280を制御するアプリケーションプログラムである。また、アプリ実行部270は、入力部220により入力された情報を、端末側通信部210を介して仲介サーバ100に送信する。売買仲介アプリ292は、例えば、ネットワークNWを介して外部装置からダウンロードしたものが第1端末装置200および第2端末装置300にインストールされている。

10

【0042】

出力制御部280は、アプリ実行部270の制御により、ディスプレイ230に表示させる画像の内容や表示態様、スピーカ240に出力させる音声の内容や出力態様を制御する。

20

【0043】

[第3端末装置]

次に、第3端末装置400の構成について説明する。図4は、実施形態の第3端末装置400の構成図である。第3端末装置400は、例えば、端末側通信部410と、入力部420と、ディスプレイ430と、スピーカ440と、マイク450と、位置取得部455と、アプリ実行部470と、出力制御部480と、端末側記憶部490とを備える。位置取得部455と、アプリ実行部470と、出力制御部480とは、例えば、CPU等のハードウェアプロセッサがプログラム（ソフトウェア）を実行することにより実現される。また、これらの構成要素のうち一部または全部は、LSIやASIC、FPGA、GPU等のハードウェア（回路部；circuitryを含む）によって実現されてもよいし、ソフトウェアとハードウェアの協働によって実現されてもよい。プログラムは、予めHDDやフラッシュメモリ等の記憶装置（非一過性の記憶媒体を備える記憶装置）に格納されていてもよいし、DVDやCD-ROM等の着脱可能な記憶媒体（非一過性の記憶媒体）に格納されており、記憶媒体がドライブ装置やカードスロット等に装着されることで第3端末装置400の記憶装置にインストールされてもよい。

30

【0044】

端末側記憶部490は、上記の各種記憶装置、或いはEEPROM、ROM、RAM等により実現されてもよい。端末側記憶部490には、例えば、輸送仲介アプリ492、プログラム、その他各種情報が格納される。

40

【0045】

端末側通信部410、入力部420は、ディスプレイ430、スピーカ440、およびマイク450は、上述した利用者（輸送者U3）に対して、端末側通信部210、入力部220、ディスプレイ230、スピーカ240、およびマイク250と同様の機能を有する。

【0046】

位置取得部455は、内蔵されたGPS装置（不図示）により第3端末装置400の位置情報を取得する。位置情報とは、例えば、二次元の地図座標でもよく、緯度経度情報でもよい。位置取得部455は、取得した位置情報を仲介サーバ100に送信してもよい。

【0047】

50

アプリ実行部 470 は、端末側記憶部 490 に記憶された輸送仲介アプリ 492 が実行されることで実現される。輸送仲介アプリ 492 は、仲介サーバ 100 から提供された画像をディスプレイ 430 に出力させたり、仲介サーバ 100 から提供された情報に対応する音声をスピーカ 440 から出力させるように、出力制御部 480 を制御するアプリケーションプログラムである。また、アプリ実行部 470 は、入力部 420 により入力された情報を、端末側通信部 410 を介して仲介サーバ 100 に送信する。輸送仲介アプリ 492 は、例えば、ネットワーク NW を介して外部装置からダウンロードしたものが第 3 端末装置 400 にインストールされている。

【0048】

出力制御部 480 は、アプリ実行部 470 の制御により、ディスプレイ 430 に表示させる画像の内容や表示態様、スピーカ 440 に出力させる音声の内容や出力態様を制御する。

10

【0049】

[出品車両の登録]

次に、実施形態の仲介システム 1 によって出品される車両 M の登録に関する処理について説明する。なお、出品者 U1 および購入者 U2 は、認証部 120 により仲介システム 1 の利用が許可されているものとする。例えば、出品者 U1 が操作する第 1 端末装置 200 から出品要求が受け付けられた場合、情報提供部 150 は、出品者 U1 に出品情報を入力させるための画像を生成し、生成した画像を第 1 端末装置 200 のディスプレイ 230 に表示させる。

20

【0050】

図 5 は、第 1 端末装置 200 に表示される画像 IM10 の一例を示す図である。なお、画像 IM10 のレイアウトや表示内容等の表示態様については、以下の例に限定されるものではない。以降に説明する他の画像についても同様とする。図 5 に示す画像 IM10 には、出品者情報入力領域 A11 と、出品情報入力領域 A12 と、売買情報入力領域 A13 と、スイッチ表示領域 A14 とが含まれる。出品者情報入力領域 A11 には、例えば、出品者を識別する識別情報（例えば、出品者 ID）の入力可能な領域（例えば、テキストボックス）が表示される。出品者 ID は、例えば、仲介サーバ 100 の利用者情報 182 に予め登録された利用者 ID でもよく、出品者専用の ID であってもよい。また、出品者情報入力領域 A11 には、出品者 ID に加えて、出品者 U1 の氏名等の利用者情報を入力する領域が含まれていてもよい。

30

【0051】

出品情報入力領域 A12 には、例えば、出品者 U1 が出品する車両 M に関する情報として、車両 M の車種、年式、走行距離、色、外傷度合、汚損度合、修復歴の有無を入力可能な領域が表示される。また、出品情報入力領域 A12 には、例えば、車両 M の画像を撮像部 260 により撮像させて登録するためのアイコン IC11 と、修復歴を入力する画像を表示させるためのアイコン IC12 とが表示されてもよい。アイコン IC11、IC12 は、例えば、GUI (Graphical User Interface) スイッチである。以降で説明する他のアイコンについても同様とする。第 1 利用者 U1 によりアイコン IC11 が選択された場合、アプリ実行部 270 は、撮像部 260 を起動し、車両 M 本体および車室内の撮像を促す情報を示す画像をディスプレイ 230 に表示させたり、車両 M 本体および車室内の撮像を促す音声をスピーカ 240 から出力させる。選択は、タップや長押し、クリック等の態様で行われる。アプリ実行部 270 は、上記の態様の操作が利用者によって行われたことを入力部 220 の機能によって検知した場合に、利用者によって何かを選択した操作が行われたことを認識する。

40

【0052】

図 6 は、撮像部 260 により撮像された画像の一例を示す図である。出品者 U1 は、撮像を促す情報が提示されると、第 1 端末装置 200 の撮像部 260 により、出品する車両 M を車外の複数の方向から撮像したり（図 6 に示す画像 IM21、IM22 等）、車室内の領域（例えば、インストルメントパネルを含む領域）を撮影する（図 6 に示す画像 IM

50

23等)。画像は、静止画でもよく動画でもよい。撮像された画像は、画像IM10に表示された各入力領域を用いて出品者U1が入力した他の情報と共に出品車両情報として他の情報と共に仲介サーバ100に送信される。

【0053】

図5に戻り、出品者U1によりアイコンIC12が選択された場合、アプリ実行部270は、修復情報の入力を受け付ける画像を生成し、生成した画像をディスプレイ230に表示させる。修復情報には、例えば、車両Mの修理または改造をした位置や時期、修復内容、費用等に関する情報等が含まれる。アプリ実行部270は、表示された画像の入力領域に入力された情報から修復情報を受け付ける。

【0054】

売買情報入力領域A13には、例えば、車両Mの販売希望価格の入力を受け付ける領域や、売買が成立した場合の車両Mの受け渡し地点（出品者の指定位置の一例）の入力を受け付ける領域、および出品者が加入した車両Mに適用される保険情報の入力を受け付ける領域が表示される。保険情報には、例えば、自動車損害賠償責任保険や自動車保険の内容や適用条件等が含まれる。

【0055】

また、売買情報入力領域A13には、車両Mに関連する車両（例えば、車両Mに類似する車両）の過去の売買履歴に関する情報を表示させるためのアイコンIC13が表示されてもよい。第出品者U1によりアイコンIC13が選択された場合、アプリ実行部270は、出品情報入力領域A12に入力された出品車両情報に基づいて、仲介サーバ100の情報提供部150に過去の売買履歴の取得要求を行い、情報提供部150から車両Mに類似する車両の売買履歴を取得する。類似する車両とは、例えば、車両Mの年式や走行距離、外傷度合、汚損度合の差が所定範囲以内の車両である。そして、アプリ実行部270は、取得した売買履歴をディスプレイ230に表示させる。売買履歴には、例えば、売買された車両情報、確定購入価格、売買成立日等が含まれる。これにより、車両Mに類似する車両の過去の売買履歴に基づいて、出品者U1に、より適切な販売希望価格を入力させることができる。

【0056】

スイッチ表示領域A14には、例えば、アイコンIC14およびIC15が表示されている。アイコンIC14は、出品者情報入力領域A11、出品情報入力領域A12、および売買情報入力領域A13により入力された各種情報（画像が撮像された場合には画像も含む）を車両Mに関する情報として、仲介サーバ100に出品登録を実行させることを受け付けるためのアイコンである。アイコンIC15は、仲介サーバ100へ出品登録を中止することを受け付けるためのアイコンである。

【0057】

出品者U1によりアイコンIC14が選択された場合、アプリ実行部270は、出品者情報入力領域A11、出品情報入力領域A12、および売買情報入力領域A13により入力された各種情報を仲介サーバ100に送信し画像IM10の表示を終了させる。また、出品者U1によりアイコンIC15が選択された場合、アプリ実行部270は、画像IM10の表示を終了させる。

【0058】

仲介サーバ100の取得部130は、第1端末装置200から取得した車両Mに関する情報を取得し、取得した情報に識別情報（例えば、出品ID）を対応付けて記憶部180の出品情報DB184に登録する。

【0059】

図7は、出品情報DB184の内容について説明するための図である。出品情報DB184には、例えば、出品IDに、出品者ID、出品車両情報、売買関連情報、および出品年月日に対応付けられている。出品車両情報には、例えば、車両Mの車種、年式、走行距離、色、外傷度合、汚損度合、修復歴、修復情報、および画像情報が含まれる。画像情報は、例えば、第1端末装置200により撮像された一以上の画像である。売買関連情報に

10

20

30

40

50

は、例えば、販売価格、引き渡し地点に関する情報、適用保険情報が含まれる。販売価格は、例えば、出品者U1が入力した販売希望価格に仲介手数料や輸送手数料（例えば、最大輸送手数料）が加算された価格である。なお、販売価格は、出品者U1が入力した販売希望価格であってもよい。

【0060】

処理部170は、図7に示す車両情報DB184に登録された情報（例えば、車種、走行距離、色、外傷度合、汚損度合）に基づいて、車両Mを査定する。具体的には、処理部170は、車両Mの価値に関するランクを示す指標値（以下、査定ランクと称する）を決定したり、車両Mの価格を決定する。この場合、処理部170は、例えば、査定ランクに基づいて車両Mの最低価格を決定する。処理部170によって査定される車両Mの価格には、仲介サーバ100の仲介手数料や輸送手数料等の金額が含まれてもよい。

10

【0061】

処理部170は、出品情報DB184に登録された車種、走行距離、色、外傷度合、汚損度合に代えて（または加えて）、画像情報に登録された画像の解析結果に基づいて車両Mを査定してもよい。例えば、画像情報として画像IM21～IM23が含まれる場合、処理部170は、それぞれの画像を解析し、解析結果である画像中のエッジ領域や色、形状、大きさ等の特徴情報を取得する。次に、処理部170は、取得した特徴情報と、予め記憶部180等に記憶された車種ごとの特徴情報（例えば、外傷や汚損のない状態の車両の特徴情報）とのパターンマッチング等を行い、車両Mの車種や種別、色、外傷度合、損傷度合等の情報を取得する。これにより、例えば図6に示す画像IM21やIM22から車両Mの外傷S1や汚損D1の位置や度合を取得したり、画像IM23から汚損度合を取得することができるため、画像解析結果を用いて車両Mを査定することができる。画像解析結果により査定することで、出品者ごとの評価のバラツキがなく、より適切に査定することができる。査定結果は、車両情報DB184に登録されてもよい。

20

【0062】

[出品車両の閲覧および購入]

次に、出品した車両Mの閲覧および購入に関する処理について具体的に説明する。例えば、購入者U2（この時点では、購入予定者であるため、以下では「購入予定者U2」と称する）の操作により第2端末装置300から出品車両情報の閲覧要求を受け付けた場合、仲介部140は、出品情報DB184に基づいて出品車両の一覧を示す画像（第1仲介情報の一例）を生成する。情報提供部150は、仲介部140により生成された画像を閲覧要求のあった第2端末装置300に提供する。また、情報提供部150は、第2端末装置300からの閲覧要求の有無にかかわらず、出品車両情報を含む画像を、ネットワークNWを介して閲覧可能に公開してもよい。この場合、仲介サーバ100はWebサーバとして機能する。購入予定者U2は、第2端末装置300を介して閲覧可能に開示された画像を閲覧することで、出品車両情報を閲覧することができる。

30

【0063】

図8は、第2端末装置300に表示される画像IM30の一例を示す図である。画像IM30は、例えば、出品車両一覧表示領域A31と、スイッチ表示領域A32とが含まれる。出品車両一覧表示領域A31には、例えば、出品IDごとに出品車両情報を表示する出品車両情報表示領域A31a、A31b、...が表示されている。出品車両情報表示領域A31に出品車両一覧を表示させる場合、情報提供部150は、出品情報DB184の出品年月日に基づいて、出品された時期が新しい順または古い順にソートして表示させてもよい。また、情報提供部150は、第2端末装置300により入力された選択条件（例えば、検索キーワード、絞り込み条件）を取得した場合に、選択条件に基づいて出品情報DB184を参照し、選択条件に合致または類似する出品車両情報を、合致または類似する度合の大きい順に表示させてもよい。以下、出品車両情報表示領域A31a、A31bについて具体的に説明する。

40

【0064】

出品車両情報表示領域A31a、A31bのそれぞれには、例えば、出品ID、車種、

50

走行距離、外傷度合、汚損度合、年式、および色が表示されている。また、出品車両情報表示領域 A 3 1 には、車両情報 D B 1 8 4 に登録された販売価格が表示されてもよい。仲介手数料や輸送手数料を含む販売価格を提示することで、購入予定者 U 2 は、購入時の金額（合計金額）を正確に把握することができる。また、出品車両情報表示領域 A 3 1 a、A 3 1 b のそれぞれには、購入予定者 U 2 からの出品情報 D B 1 8 4 に含まれる画像情報の表示要求を受け付けるアイコン I C 3 1 と、購入予定者 U 2 が購入希望価格を入力するための画像の表示要求を受け付けるアイコン I C 3 2 とが表示されてもよい。購入予定者 U 2 によりアイコン I C 3 1 が選択された場合、情報提供部 1 5 0 は、アイコン I C 3 1 に対応付けられた出品 I D に基づいて出品情報 D B 1 8 4 から画像情報を取得し、取得した画像情報を第 2 端末装置 3 0 0 のディスプレイ 2 3 0 に表示させる。また、購入予定者 U 2 によりアイコン I C 3 2 が選択された場合、仲介部 1 4 0 は、車両 M の購入希望価格を入力する入力領域を含む画像を生成する。情報提供部 1 5 0 は、生成された画像を第 2 端末装置 3 0 0 のディスプレイ 2 3 0 に表示させて、購入予定者 U 2 の購入希望価格の入力を受け付ける。

10

【 0 0 6 5 】

例えば、第 2 端末装置 3 0 0 のアプリ実行部 2 7 0 は、購入予定者 U 2 から購入希望価格の入力を受け付ける場合に、販売価格未満の入力を受け付けないように制御してもよく、販売価格以上の価格の入力を促す情報を出力制御部 2 8 0 に出力させてもよい。また、アプリ実行部 2 7 0 は、販売価格に代えて、査定価格を用いて上述の処理を行ってもよい。これにより、購入予定者 U 2 に、出品者 U 1 以外の第三者が評価した査定価格を提示することで、公平な金銭的評価に基づいて、より安心した個人間売買を行わせることができる。また、アプリ実行部 2 7 0 は、販売価格に代えて（または加えて）、仲介サーバ 1 0 0 の情報提供部 1 5 0 に過去の売買履歴の取得要求を行い、情報提供部 1 5 0 から購入対象の車両 M に類似する車両の売買履歴を取得し、取得した売買履歴をディスプレイ 2 3 0 に表示させてもよい。これにより、購入予定者 U 2 に販売価格が過去の実績よりも高いか否かを把握させることができ、より適切な価格で車両 M を購入することができる。

20

【 0 0 6 6 】

処理部 1 7 0 は、第 2 端末装置 3 0 0 によって購入予定者 U 2 により入力された購入希望価格に基づいて、車両 M の購入を許可するか否かを判定する。例えば、処理部 1 7 0 は、オークション等の競売方式によって、出品した利用者を決定する場合には、車両 M を出品してから所定期間が経過するまでに、複数の利用者により入力された購入希望価格のうち、最高額を入力した購入予定者 U 2 の車両 M の購入を許可する。また、出品者 U 1 が購入予定者 U 2 の購入希望価格で販売を許可することによって車両 M の売買が成立する個人間売買方式である場合、処理部 1 7 0 は、購入予定者 U 2 により入力された購入希望価格を示す情報を出品者 U 1 の第 1 端末装置 2 0 0 に提示し、販売を許可した場合に、その購入予定者 U 2 の車両 M の購入を許可する。

30

【 0 0 6 7 】

処理部 1 7 0 は、購入を許可した購入予定者 U 2 に購入許可通知を行い、クレジット決済や銀行への金額の振り込み処理等の精算手続きに関する処理を行う。精算手続きが完了後、車両 M の売買が成立し、購入予定者 U 2 は、購入者 U 2 となる。以下、「購入者 U 2」と称して説明する。

40

【 0 0 6 8 】

また、処理部 1 7 0 は、個人間売買成立後に、売買が成立した車両 M の輸送に関する処理を行う。例えば、処理部 1 7 0 は、予め決められた複数の輸送パターンのうち、どのパターンで輸送させるかを購入者 U 2 に選択させるための画像を生成する。情報提供部 1 5 0 は、生成された画像を第 2 端末装置 3 0 0 に提供する。購入者 U 2 は、第 2 端末装置 3 0 0 に表示された画像を用いて車両の輸送パターンを選択する。なお、処理部 1 7 0 は、上記画像を第 1 端末装置 2 0 0 に表示し、輸送パターンを出品者 U 1 に選択させてもよい。画像の詳細については、後述する。

【 0 0 6 9 】

50

画像 I M 3 0 のスイッチ表示領域 A 3 2 には、画像 I M 3 0 の表示を終了させるためのアイコン I C 3 3 が表示されている。購入者第 2 利用者 U 2 によりアイコン I C 3 3 が選択された場合、アプリ実行部 2 7 0 は、画像 I M 3 0 の表示を終了させる。

【 0 0 7 0 】

[購入された車両の輸送]

次に、購入された車両の輸送について説明する。上述した画像 I M 3 0 において、商品の購入が成立した場合に、情報提供部 1 5 0 は、車両 M を購入した購入者 U 2 の第 2 端末装置 3 0 0 に輸送パターンを選択させる画像を表示させる。

【 0 0 7 1 】

図 9 は、車両 M の輸送パターンを選択させるための画像 I M 4 0 の一例を示す図である。画像 I M 4 0 は、例えば、輸送パターン一覧表示領域 A 4 1 と、スイッチ表示領域 A 4 2 とが含まれる。輸送パターン一覧表示領域 A 4 1 には、例えば、複数の輸送パターンごとの輸送内容および購入金額を表示する輸送パターン詳細表示領域 A 4 1 a、A 4 1 b、A 4 1 c、... が表示されている。

10

【 0 0 7 2 】

図 1 0 は、複数の輸送パターンについて説明するための図である。なお、輸送パターンについては、図 1 0 の例に限定されない。図 1 0 の例では、仲介サーバ 1 0 0 によって出品者 U 1 と購入者 U 2 との間で車両 M の個人間売買が成立し、出品者 U 1 の指定位置に存在する車両 M を購入者 U 2 に輸送させる輸送経路 R T 1 ~ R T 7 を示している。輸送経路 R T 1 は、輸送者 U 3 a が車両 M を運転して購入者 U 2 の指定位置まで車両 M を輸送する経路である。輸送経路 R T 2 ~ R T 4 は、中継地点 B P 1 および B P 2 を経由して購入者 U 2 の指定位置まで車両 M を輸送する経路である。なお、中継地点 B P 1 から中継地点 B P 2 までの経路 R T 3 は、運搬車両 T V 1 が車両 M を積載して運搬する経路である。中継地点とは、例えば、車両を販売するディーラーや整備工場でもよく、運送業者等の運送拠点でもよく、オークション会場等でもよい。また、中継地点は、商業施設や小規模店舗の駐車場、倉庫、または空き地等でもよい。運搬車両 T V 1 は、例えば、複数の車両を積載して運搬可能な積載車や大型トレーラー等である。なお、中継地点間の移動は、運搬車両 T V 1 に代えて、車両 M を積載して移動が可能な飛行体や船舶等の移動体で移動してもよい。

20

【 0 0 7 3 】

図 1 0 の例において、出品者 U 1 の指定位置から中継地点 B P 1 までの経路 R T 2 は、輸送者 U 3 b が車両 M を運転して輸送し、中継地点 B P 1 から中継地点 B P 2 までの経路 R T 3 は、輸送者 U 3 c が車両 M を積載した運搬車両 T V 1 を運転して車両 M を輸送し、運搬車両 T V 1 から車両 M を降ろした中継地点 B P 2 から購入者 U 2 の指定位置までは、輸送者 U 3 d が車両 M を運転して輸送する。また、車両 M を運搬車両 T V 1 に積載して輸送させるパターンとしては、他の中継地点（例えば図 1 0 に示す中継地点 B P 3、B P 4）を經由して車両 M を輸送するパターンが存在してもよい。図 1 0 の例では、中継地点 B P 1 B P 3 B P 4 B P 2 までの経路 R T 5 ~ R T 7 は、輸送者 U 3 c が車両 M を積載した運搬車両 T V 1 を運転して車両 M を輸送する。図 1 0 の例において、輸送者 U 3 a は「第 1 輸送者」の一例であり、輸送者 U 3 b は「第 2 輸送者」の一例であり、輸送者 U 3 c は「第 3 輸送者」の一例であり、輸送者 U 3 d は「第 4 輸送者」の一例である。

30

【 0 0 7 4 】

図 9 に戻り、以下、輸送パターン詳細表示領域 A 4 1 a、A 4 1 b、A 4 1 c について具体的に説明する。輸送パターン詳細表示領域 A 4 1 a には、例えば、購入者 U 2 が車両 M を出品者 U 1 が指定した位置まで引き取りに行く輸送パターン A に関する情報が示されている。輸送パターン A の場合は、購入者 U 2 が図 1 0 に示す輸送者 U 3 a となる。この場合、情報提供部 1 5 0 は、画像 I M 3 0 の出品車両情報表示領域 A 3 1 a、A 3 1 b に表示された販売価格から輸送手数料を減額した購入金額（図 9 の例では 7 5 [万円]）を表示する。また、輸送パターン詳細表示領域 A 4 1 a には、出品者 U 1 が指定した車両 M を引き渡す位置（指定位置）を示す画像を表示させるアイコン I C 4 1 が含まれていてもよ

40

50

い。購入者U2によりアイコンIC41が選択された場合、情報提供部150は、出品情報DB184を参照し、出品者U1が入力した引き渡し地点を示す情報を含む画像を生成して、第2端末装置300に表示させる。これにより、第2利用者U2に、自らが車両Mを引き取りに行くか否かを判断させ易くすることができる。

【0075】

輸送パターン詳細表示領域A41bには、例えば、輸送者U3が直接車両Mを運転して、車両Mを購入者U2の指定位置（引き取り位置）まで輸送する輸送パターンBに関する情報が示されている。輸送パターンBは、図10に示す第三者である輸送者U3aが車両Mを運転する輸送パターンである。情報提供部150は、輸送パターンBに基づいて輸送パターン詳細情報を表示させる場合は、出品車両情報表示領域A31a、A31bに表示された販売価格よりも安く、輸送パターンAよりも低い金額（例えば2万円）を減額した購入金額を輸送パターン詳細表示領域A41bに表示させる。また、輸送パターン詳細表示領域A41bには、購入者U2が車両Mの引き取り位置（購入者の指定位置の一例）を入力するための画像を表示させるアイコンIC42が含まれていてもよい。購入者U2によりアイコンIC42が選択された場合、情報提供部150は、購入者U2が車両Mを引き取る位置を入力する領域を含む画像を生成し、生成した画像を第2端末装置300に表示し、購入者U2からの引き取り位置の入力を受け付ける。

【0076】

輸送パターン詳細表示領域A41cには、例えば、車両Mが実際に走行する距離を極力減らすように、車両Mを運搬車両TV1に積載して購入者U2の指定位置まで運搬する輸送パターンCに関する情報が示されている。輸送パターンCは、図10に示す輸送者U3bおよびU3dが車両Mを運転し、輸送者U3cが車両Mを積載した運搬車両TV1を運転する輸送パターンである。情報提供部150は、出品車両情報表示領域A31a、A31bに表示された販売価格（つまり、最大の輸送手数料を含む販売価格）が購入金額として輸送パターン詳細表示領域A41cに表示させる。また、輸送パターン詳細表示領域A41cには、詳細表示領域A41bと同様に購入者U2が車両Mの引き取り位置を入力するための画像を表示させるアイコンIC42が含まれていてもよい。

【0077】

上述した輸送パターンA～Cのうち、輸送パターンAは、輸送者U3が購入者U2であるため、購入金額が最も安く、輸送パターンCは、購入金額が最も高いが車両Mが走行する距離は最も短くなる。購入者U2は、各輸送パターンの内容や金額を考慮して、輸送パターン詳細表示領域A41a～A41cのそれぞれに設けられたチェックボタンのうち、何れかをチェックして輸送パターンを選択する。なお、輸送パターン詳細表示領域A41a～A41cには、購入者U2が加入済みの、車両Mに適用される保険情報を入力する領域が含まれていてもよい。

【0078】

スイッチ表示領域A42には、例えば、アイコンIC43およびIC44が表示されている。アイコンIC43は、輸送パターン一覧表示領域A41により入力された各種情報を仲介サーバ100に出力することを受け付けるためのアイコンである。アイコンIC44は、車両Mの購入および輸送パターンの選択を中止することを受け付けるためのアイコンである。購入者U2によりアイコンIC43が選択された場合、アプリ実行部270は、輸送パターン一覧表示領域A41により入力された各種情報を仲介サーバ100に送信し画像IM40の表示を終了させる。また、購入者U2によりアイコンIC44が選択された場合、アプリ実行部270は、画像IM40の表示を終了させる。

【0079】

仲介部140は、輸送パターン一覧表示領域A41に入力された情報を取得した場合に、出品者U1と、購入者U2との間の個人間売買が成立したものとみなし、売買が成立した車両Mに関する情報を売買履歴情報186に格納する。図11は、売買履歴情報186の内容について説明するための図である。売買履歴情報186は、例えば、出品IDに、売買車両情報、確定購入価格、売買成立日、および輸送時適用保険情報が対応付けられた

10

20

30

40

50

ものである。売買車両情報は、出品情報DB184の出品車両情報のうち一部または全部の情報である。確定購入価格とは、第2利用者が選択した輸送パターンに対応付けられた購入価格である。売買成立日とは、例えば、車両Mの購入手続き（例えば、確定購入価格に関する精算や輸送パターン等に関する処理）が完了した年月日である。適用保険情報は、車両Mの運転時に適用される保険情報である。適用保険情報は、例えば、出品者U1または購入者U2のうち一方または双方により入力される。また、適用保険情報とは、仲介サーバ100が加入した車両Mに対する保険情報であってもよい。

【0080】

仲介サーバ100は、売買履歴情報186に基づいて、出品者U1または購入者U2に売買履歴を提示して、より適切な販売希望価格や購入希望価格を入力させることができる。

10

【0081】

割当部160は、購入者U2により選択された輸送パターンに基づいて、輸送者U3（具体的には、第1輸送者～第4輸送者）を割り当てる。例えば、割当部160は、輸送パターン一覧表示領域A41に入力された情報に基づいて、車両Mの輸送に関する情報を輸送情報188に登録する。

【0082】

図12は、輸送情報188の内容について説明するための図である。輸送情報188には、輸送情報を識別する識別情報としての輸送IDに、車両ID、売買車両情報、輸送関連情報、および輸送完了フラグが対応付けられている。輸送関連情報には、例えば、出品者指定位置、購入者指定位置、輸送者U3を識別する識別情報としての輸送者ID、出発地、目的地、輸送種別、輸送手数料が含まれる。出品者指定位置は、出品者U1が指定した車両Mの引き渡し位置である、購入者指定位置は、購入者U2が指定した車両Mの引き取り位置である。輸送者IDは、例えば、利用者情報182の利用者IDでもよく、輸送者専用のIDでもよい。出発地および目的地は、輸送者IDに対応付けられた輸送者U3が、車両Mの輸送を開始する位置および輸送を終了する位置である。例えば、出品者指定位置と出発地が一致し、且つ購入者指定位置と目的地が一致する場合、その輸送者U3が一人で最終地点まで車両Mの輸送を行うことが分かる。輸送種別は、車両Mの輸送方法の種類を示す情報であり、車両Mを走行させて輸送する「自走」や、運搬車両TV1に積載して輸送する「積載」等が含まれる。輸送種別が「自走」である場合、割当部160は、車両Mを直接運転する輸送者を割り当てる。また、輸送種別が「積載」の場合、割当部160は、車両Mを積載して運搬する運搬車両を割り当てると共に、その運搬車両を運転する輸送者を割り当てる。輸送手数料は、輸送距離や輸送種別等によって設定される車両Mの輸送に関する手数料である。輸送手数料には、輸送者U3が出品者指定位置や中継地点に向かう交通費や、購入者指定位置や中継地点から帰ってくる交通費等が含まれてもよい。運搬車両フラグは、車両Mの輸送が完了したか否かを示す情報である。図12の例では、輸送が完了している場合には「1」、輸送が完了していない場合には「0」が格納されているが、他のフラグを用いてもよい。また、輸送完了フラグには、輸送を完了したか否かを示す情報に加えて、輸送中であることを示す情報が含まれてもよい。

20

30

【0083】

割当部160は、仲介サーバ100または外部装置に記憶された地図情報等を参照して、出品者指定位置から購入者指定位置までの経路や、経由する拠点までの経路等を決定する。また、取得した経路等に基づいて、上述した輸送関連情報を登録する。図12の例において、出品ID「G005」の車両は、出品者指定位置P5から購入者指定位置P8に車両を輸送する場合に、中継地点P6、P7を経由することを示している。また、出品ID「G005」の車両は、輸送者IDが設定されていないため、また輸送者U3（具体的には、第2輸送者、第3輸送者、第4輸送者）が決定していないことを示している。

40

【0084】

割当部160は、輸送情報188を参照し、まだ輸送者U3が設定されていない経路（輸送ID）の輸送者U3を割り当てる処理を行う。例えば、割当部160は、まだ輸送者U3が割り当てられていない車両Mに輸送者U3を割り当てるための第2仲介情報を仲介

50

部 1 4 0 に生成させる。情報提供部 1 5 0 は、仲介部 1 4 0 により生成された第 2 仲介情報を含む画像 I M 5 0 を生成し、生成した画像 I M 5 0 を第 3 端末装置 4 0 0 に送信する。情報提供部 1 5 0 は、画像 I M 5 0 をネットワーク N W に閲覧可能に開示してもよく、第 3 端末装置 4 0 0 からの閲覧要求を受け付けた後、画像 I M 5 0 を提供してもよい。

【 0 0 8 5 】

図 1 3 は、第 3 端末装置 4 0 0 に表示される画像 I M 5 0 の一例を示す図である。画像 I M 5 0 には、例えば、輸送待ち車両一覧表示領域 A 5 1 と、スイッチ表示領域 A 5 2 とが含まれる。輸送待ち車両一覧表示領域 A 5 1 には、例えば、輸送 I D ごとに、輸送関連情報を表示する輸送関連情報表示領域 A 5 1 a、A 5 1 b、... が表示されている。輸送関連情報表示領域 A 5 1 a、A 5 1 b は、輸送情報 1 8 8 に登録された情報の新しい順または古い順にソートして表示させてもよく、出発地が第 3 端末装置 4 0 0 の位置取得部 4 5 5 により取得された位置情報に近い順に表示させてもよい。

10

【 0 0 8 6 】

輸送関連情報表示領域 A 5 1 a、A 5 1 b には、例えば、輸送 I D、車両情報、出発地、目的地、免許条件、保険内容、輸送手数料、その他の情報が含まれる。車両情報、出発地、および目的地には、輸送情報 1 8 8 に登録された輸送 I D に対応する売買車両情報、出発地、および目的地が表示される。免許条件には、運転する車両に対応付けられる輸送者 U 3 の免許の条件が表示される。保険内容には、運転する車両に適用されている保険情報が表示されている。その他の情報には、出品者 U 1 や購入者 U 2、仲介サーバ 1 0 0 が設定した情報が表示される。その他の情報には、例えば、輸送者 U 3 に対する条件（例えば、1 時間以内に出発できる方、大型運搬車両の運転経験者）に関する情報が含まれる。

20

【 0 0 8 7 】

また、輸送関連情報表示領域 A 5 1 a、A 5 1 b のそれぞれには、出発地から目的地までの経路や第 3 端末装置 4 0 0 の現在位置を示す地図画像を表示するためのアイコン I C 5 1 や、輸送者 U 3 に輸送作業を登録させるためのアイコン I C 5 2 が表示されてもよい。輸送者 U 3 によりアイコン I C 5 1 が選択された場合、情報提供部 1 5 0 は、出発地から目的地までの経路や第 3 端末装置 4 0 0 の現在位置を示す地図画像を生成し、生成した画像を第 3 端末装置 4 0 0 に表示させる。また、輸送者 U 3 によりアイコン I C 5 2 が選択された場合、割当部 1 6 0 は、アイコン I C 5 2 の選択を受け付けた第 3 端末装置 4 0 0 から利用者 I D を取得し、取得した利用者 I D を用いて、利用者情報 1 8 2 を参照し、利用者 I D に対応付けられた運転免許情報を取得する。そして、割当部 1 6 0 は、例えば、運転免許情報が輸送 I D に割り当てられた免許条件を満たし、且つ免許の有効期限を過ぎていない場合に、輸送情報 1 8 8 の輸送 I D に、輸送者に対応付けられた輸送者 I D の情報を登録する。なお、割当部 1 6 0 は、運転免許情報が輸送 I D に割り当てられた免許条件を満たさない場合、または免許の有効期限を過ぎていない場合には、その輸送者 U 3 の割り当てを行わず、第 3 端末装置 4 0 0 に輸送ができないことを示す情報を表示させる。

30

【 0 0 8 8 】

運転免許情報が輸送 I D に割り当てられた免許条件を満たし、且つ免許の有効期限を過ぎていない場合、割当部 1 6 0 は、情報提供部 1 5 0 に、輸送を担当する輸送者 U 3 の第 3 端末装置 4 0 0 に輸送の担当が確定したことを通知させると共に、出発地や目的地に関する情報を通知させる。情報提供部 1 5 0 は、第 3 端末装置 4 0 0 から出発地に到着する日時等を受け付け、受け付けた日時に関する情報および輸送者 U 3 に関する情報を、出品者 U 1 の第 1 端末装置 2 0 0 や購入者 U 2 の第 2 端末装置 3 0 0 に通知する。購入者 U 2 の第 2 端末装置 3 0 0 には、出発地に到着する日時に代えて、目的地に到着する日時を通知してもよい。また、出発地や目的地が、出品者 U 1 の指定位置や購入者 U 2 の指定位置でない場合には、上述した情報を第 1 端末装置 2 0 0 や第 2 端末装置 3 0 0 に送信しなくてもよい。

40

【 0 0 8 9 】

画像 I M 5 0 のスイッチ表示領域 A 5 2 には、画像 I M 5 0 の表示を終了させるためのアイコン I C 5 3 が表示されている。輸送者 U 3 によりアイコン I C 5 3 が選択された場

50

合、アプリ実行部 470 は、画像 IM50 の表示を終了させる。

【0090】

また、割当部 160 は、購入者 U2 が輸送者 U3 に車両 M を輸送させる輸送パターン（例えば、上述の輸送パターン B、C）を選択した場合であって、且つ、輸送情報 188 に情報が登録してから所定時間経過した後、また、画像 IM50 がネットワーク NW 上に閲覧可能に開示されてから所定時間が経過した後も、輸送者 U3 が決定していない場合に、輸送者 U2 に輸送の可否を問い合わせてもよい。この場合、割当部 160 は、購入者 U2 に対して、車両 M を引き取りに行けるか否かを問い合わせるための画像を生成し、生成した画像を購入者 U2 の第 2 端末装置 300 に表示させる。

【0091】

図 14 は、購入者 U2 に輸送を依頼する画像 IM60 の一例を示す図である。画像 IM60 は、例えば、問い合わせ情報表示領域 A61 と、スイッチ表示領域 A62 とが含まれる。問い合わせ情報表示領域 A61 には、車両の輸送する輸送者 U3 が見つからないこと、および購入者 U2 が車両を引き取りに行けるか否かを問い合わせる情報が表示されている。また、問い合わせ情報表示領域 A61 には、購入者 U2 が引き取りに行った場合に、購入金額から減額される金額を示す情報を表示してもよい。図 14 の例において、問い合わせ情報表示領域 A61 には、「車両を輸送する輸送者 U3 が見つかりません。」、「ご購入様が車両を引き取りに行くことは可能ですか?」、「引き取りに行った場合には、購入金額から 5 万円減額致します。」という情報が表示されている。なお、問い合わせ情報表示領域 A61 には、上述した購入金額から減額される金額に代えて、輸送手数料が表示されてもよい。

【0092】

また、問い合わせ情報表示領域 A61 には、引き渡し位置を確認するためのアイコン IC61 が表示されていてもよい。購入者 U2 によりアイコン IC61 が選択された場合、情報提供部 150 は、出品者指定位置に関する画像を生成し、生成した画像を第 2 端末装置 300 に表示させる。

【0093】

スイッチ表示領域 A62 には、例えば、アイコン IC62 および IC63 が表示されている。アイコン IC62 は、購入者 U2 が車両 M の輸送を許可することを受け付けるためのアイコンである。アイコン IC63 は、購入者 U2 が車両 M の輸送を拒否することを受け付けるためのアイコンである。購入者 U2 によりアイコン IC62 が選択された場合、割当部 160 は、購入者 U2 を輸送者 U3 として輸送情報 188 に登録し、購入者 U2 が出発地に到着する日時等の調整を行う。

【0094】

また、購入者 U2 によりアイコン IC63 が選択された場合、割当部 160 は、予め決められた輸送業者等に車両 M の輸送を依頼する。これにより、車両 M が輸送されない状況が長く続くことを抑制することができる。日用品や雑誌等の物品よりも高額な車両の売買であるため、輸送者 U3 が見つからない場合に輸送業者を手配することで、取引がキャンセルされることを抑制することができる。

【0095】

なお、割当部 160 は、画像 IM60 を、購入者 U2 の第 2 端末装置 300 に代えて（または加えて）、出品者 U1 の第 1 端末装置 200 に送信して、出品者 U1 に車両 M の輸送の可否（例えば、車両 M を購入者 U2 に引き渡しに行けるか否か）を問い合わせてもよい。出品者 U1 または購入者 U2 は、車両 M を運転している、または将来運転する可能性が高い利用者であるため、運転免許条件や保険の適用範囲を満たしている可能性が高い。そのため、出品者 U1 および購入者 U2 を優先して輸送を依頼することで、より効率的に輸送者 U3 を決定することができる。

【0096】

また、割当部 160 は、利用者情報 182 の住所欄を参照し、住所から出発地までの距離が所定距離以内の利用者の端末装置に画像 IM60 を送信してもよい。また、情報提供

10

20

30

40

50

部 1 5 0 は、端末装置の位置情報から出発地までの距離が所定距離以内に存在する第 3 端末装置 4 0 0 に画像 I M 6 0 を送信してもよい。これにより、輸送を開始し易い利用者に優先的に問い合わせることができると共に、輸送開始時間が遅れることを抑制することができる。

【 0 0 9 7 】

輸送者 U 3 が確定後、情報提供部 1 5 0 は、輸送者 U 3 の第 3 端末装置 4 0 0 に、車両 M の輸送に関する情報（例えば、車両 M に関する情報や出発地から目的地までの経路を示す情報）等を提供する。また、情報提供部 1 5 0 は、第 3 端末装置 4 0 0 の位置情報に対応付けられた輸送者 U 3 の位置や、出品者 U 1 の指定位置または購入者 U 2 の指定位置に輸送者 U 3 が近づいていることを、第 1 端末装置 2 0 0 や第 2 端末装置 3 0 0 に通知して

10

【 0 0 9 8 】

また、処理部 1 7 0 は、輸送者 U 3 が車両 M を引き取ったことを示す情報を出品者 U 1 の第 1 端末装置 2 0 0 や中継地点の端末から取得したり、輸送者 U 3 から車両 M が引き渡されたことを示す情報を購入者 U 2 の第 2 端末装置 3 0 0 や中継地点の端末から取得した場合に、輸送者 U 3 に輸送手数料を支払う処理を行ってもよい。また、処理部 1 7 0 は、輸送情報 1 8 8 の輸送 I D に対応付けられた輸送完了フラグに、輸送が完了したことを示すフラグを格納する。

【 0 0 9 9 】

[処理フロー]

次に、仲介サーバ 1 0 0 により実行される処理の流れの一例について説明する。仲介サーバ 1 0 0 により実行される処理には、例えば、第 1 利用者から出品された出品車両情報の登録、提供、および購入に関する処理（第 1 処理）と、売買が成立した車両を輸送する処理（第 2 処理）とに大別される。以下では、第 1 および第 2 処理を、それぞれ分けて説明する。また、以下では、第 1 端末装置 2 0 0、第 2 端末装置 3 0 0、および第 3 端末装置 4 0 0 は、出品者 U 1、購入者（または購入予定者）U 2、および輸送者 U 3 の認証処理等により仲介サーバ 1 0 0 へのアクセスが許可されているものとする。

20

【 0 1 0 0 】

図 1 5 は、仲介サーバ 1 0 0 のコンピュータにより実行される第 1 処理の流れの一例を示すフローチャートである。第 1 処理は、例えば、仲介サーバ 1 0 0 が第 1 端末装置 2 0 0 に、出品する車両に関する情報を入力するための画像 I M 1 0 を提供し、画像 I M 1 0 を用いて入力された出品する車両に関する情報を受信したタイミングで実行される。図 1 5 の例において、まず、取得部 1 3 0 は、出品者 U 1 により操作される第 1 端末装置 2 0 0 から出品する車両に関する情報を取得し（ステップ S 1 0 0）、取得した情報を出品情報 DB 1 8 4 に登録する（ステップ S 1 0 2）。ステップ S 1 0 0 およびステップ S 1 0 2 の処理と、ステップ S 1 0 4 以降の処理は、異なるタイミングで実行されてよい。

30

【 0 1 0 1 】

次に、情報提供部 1 5 0 は、購入予定者 U 2 が操作する第 2 端末装置 3 0 0 からの閲覧要求等により出品車両情報を提供するかどうかを判定する（ステップ S 1 0 4）。出品車両情報を提供すると判定された場合、仲介部 1 4 0 は、出品車両情報に基づいて第 1 仲介情報を生成する（ステップ S 1 0 6）。次に、情報提供部 1 5 0 は、生成された第 1 仲介情報を閲覧要求のあった購入者予定者 U 2 の第 2 端末装置 3 0 0 に提供する（ステップ S 1 0 8）。

40

【 0 1 0 2 】

次に、仲介部 1 4 0 は、購入予定者 U 2 の第 2 端末装置 3 0 0 から購入希望価格を受け付けたか否かを判定する（ステップ S 1 1 0）。購入希望価格を受け付けたと判定した場合、仲介部 1 4 0 は、情報提供部 1 5 0 に購入希望価格を示す情報を出品者 U 1 の第 1 端末装置 2 0 0 を提供させる（ステップ S 1 1 2）。次に、仲介部 1 4 0 は、第 1 端末装置 2 0 0 から販売の許可を受け付けたか否かを判定する（ステップ S 1 1 4）。販売の許可を受け付けたと判定した場合、処理部 1 7 0 は、購入者 U 2 に対する購入処理を実行する

50

(ステップS 1 1 6)。ステップS 1 1 6の購入処理には、例えば、出品した車両の購入金額に対する精算処理が含まれる。次に、処理部1 7 0は、第2 端末装置3 0 0から、売買が成立した車両を出品者U 1の指定位置から購入者U 2の指定位置まで輸送する場合の輸送パターンの選択を受け付ける(ステップS 1 1 8)。次に、処理部1 7 0は、出品した車両の売買に関する情報を、売買履歴情報1 8 6に登録する(ステップS 1 2 0)。これにより、本フローチャートの処理は終了する。また、ステップS 1 0 4の処理において出品車両情報を提供しないと判定された場合、ステップS 1 1 0の処理において購入希望価格を受け付けていないと判定された場合、ステップS 1 1 4の処理において販売の許可を受け付けたと判定された場合、本フローチャートの処理は終了する。

【0 1 0 3】

また、上述のステップS 1 1 4の処理において、購入希望価格に対して販売の許可を受け付けなかった場合、情報提供部1 5 0は、販売が許可されなかったことを示す情報と購入希望価格の調整(例えば、増額)を促す情報とを第2 端末装置3 0 0に提供してもよい。この場合、処理部1 7 0は、調整された購入希望価格を受け付けた場合に、ステップS 1 1 2以降の処理を行う。

【0 1 0 4】

また、上述の第1 処理では、個人間売買方式に関する処理について説明したが、これに代えて、オークション等の競売方式を用いてもよい。この場合、処理部1 7 0は、所定期間で受け付けた複数の購入希望価格のうち、最高額を提示した購入予定者U 2に出品車両を購入させる。また、処理部1 7 0は、出品者U 1が指定した販売価格を超える購入希望価格を最初に提示した購入予定者U 2に出品車両を購入させてもよい。どのような方式で購入されるかについては、出品する車両ごとに決定されてもよく、サーバ管理者が指定してもよく、出品者U 1が指定してもよい。

【0 1 0 5】

図1 6は、仲介サーバ1 0 0のコンピュータにより実行される第2 処理の流れの一例を示すフローチャートである。図1 6の例において、割当部1 6 0は、出品者U 1の指定位置から購入者U 2の指定位置までの経路設定する(ステップS 2 0 0)。次に、割当部1 6 0は、車両を輸送する輸送者U 3が割り当てられているか否かを判定する(ステップS 2 0 2)。輸送者U 3が割り当てられていないと判定された場合、仲介部1 4 0は、購入者U 2と輸送者U 3と仲介し、車両Mを輸送する輸送者U 3を割り当てるための第2 仲介情報を生成する(ステップS 2 0 4)。次に、情報提供部1 5 0は、生成された第2 仲介情報をネットワークNW上に閲覧可能に開示する(ステップS 2 0 6)。

【0 1 0 6】

次に、割当部1 6 0は、輸送者U 3の登録を受け付けたか否かを判定する(ステップS 2 0 8)。輸送者U 3の登録を受け付けていないと判定した場合、割当部1 6 0は、第2 仲介情報が開示されてから所定時間が経過したか否かを判定する(ステップS 2 1 0)。所定時間が経過していないと判定した場合、ステップS 2 0 8の処理に戻る。また、所定時間が経過したと判定した場合、割当部1 6 0は、購入者U 2または出品者U 1に輸送の可否を問い合わせ(ステップS 2 1 2)、輸送を許可したか否かを判定する(ステップS 2 1 4)。輸送を許可していない(拒否した)と判定した場合、割当部1 6 0は、予め決められた輸送業者を手配する(ステップS 2 1 6)。

【0 1 0 7】

ステップS 2 0 2の処理において輸送者U 3が割り当てられている場合、ステップS 2 0 8の処理において輸送者U 3の登録を受け付けたと判定した場合、ステップS 2 1 4の処理において購入者U 2または出品者U 1が輸送を許可した場合、またはステップS 2 1 6の処理後、情報提供部1 5 0は、輸送者U 3に関する情報を輸送情報1 8 8に登録し(ステップS 2 1 8)、出品者U 1、購入者U 2、および輸送者U 3に輸送に関する情報を提供する(ステップS 2 2 0)。次に、処理部1 7 0は、輸送完了後に、輸送者U 3に輸送手数料を支払う処理を実行する(ステップS 2 2 2)。これにより、本フローチャートの処理は終了する。

10

20

30

40

50

【 0 1 0 8 】

以上説明した実施形態によれば、仲介サーバ 1 0 0（輸送仲介装置の一例）において、車両 M を出品した出品者 U 1 と、前記車両を購入する購入者 U 2 とを仲介するための第 1 仲介情報によって前記車両の売買が成立した場合に、車両 M を輸送する輸送者 U 3 を割り当てる割当部 1 6 0 と、割当部 1 6 0 により割り当てられた輸送者 U 3 に車両 M の輸送させるための情報を提供する情報提供部 1 5 0 とを備えることにより、個人間売買によって売買が成立した車両の輸送を手配し易くすることができる。

【 0 1 0 9 】

具体的には、実施形態によれば、例えば車両の出品者と、出品車両の購入者を仲介する仲介システム 1 が売買成立後の車両の輸送に関する仲介も行うことで、個人間売買から車両の引き渡しまで一括したサービスを提供することができる。したがって、出品者および購入者の手間を削減することができる。また、実施形態によれば、輸送者も含めてシステムで管理されるため、より効率的に輸送者も割り当てを行うことができる。

10

【 0 1 1 0 】

上記説明した実施形態は、以下のように表現することができる。

プログラムを記憶した記憶装置と、

ハードウェアプロセッサと、を備え、

前記ハードウェアプロセッサが前記記憶装置に記憶されたプログラムを実行することにより、

車両を出品した出品者と、前記車両を購入する購入者とを仲介するための第 1 仲介情報によって前記車両の売買が成立した場合に、前記車両を輸送する輸送者を割り当て、

20

割り当てた前記輸送者に前記車両の輸送させるための情報を提供する、

ように構成されている、輸送仲介装置。

【 0 1 1 1 】

以上、本発明を実施するための形態について実施形態を用いて説明したが、本発明はこうした実施形態に何等限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲内において種々の変形及び置換を加えることができる。

【 符号の説明 】

【 0 1 1 2 】

1 ... 仲介システム、 1 0 0 ... 仲介サーバ、 1 1 0 ... 通信部、 1 2 0 ... 認証部、 1 3 0 ... 取得部、 1 4 0 ... 仲介部、 1 5 0 ... 情報提供部、 1 6 0 ... 割当部、 1 7 0 ... 処理部、 1 8 0 ... 記憶部、 2 0 0 ... 第 1 端末装置、 2 1 0、 4 1 0 ... 端末側通信部、 2 2 0、 4 2 0 ... 入力部、 2 3 0、 4 3 0 ... ディスプレイ、 2 4 0、 4 4 0 ... スピーカ、 2 5 0、 4 5 0 ... マイク、 2 5 5、 4 5 5 ... 位置取得部、 2 6 0 ... 撮像部、 2 7 0、 4 7 0 ... アプリ実行部、 2 8 0、 4 8 0 ... 出力制御部、 2 9 0、 4 9 0 ... 端末側記憶部、 3 0 0 ... 第 2 端末装置、 4 0 0 ... 第 3 端末装置、

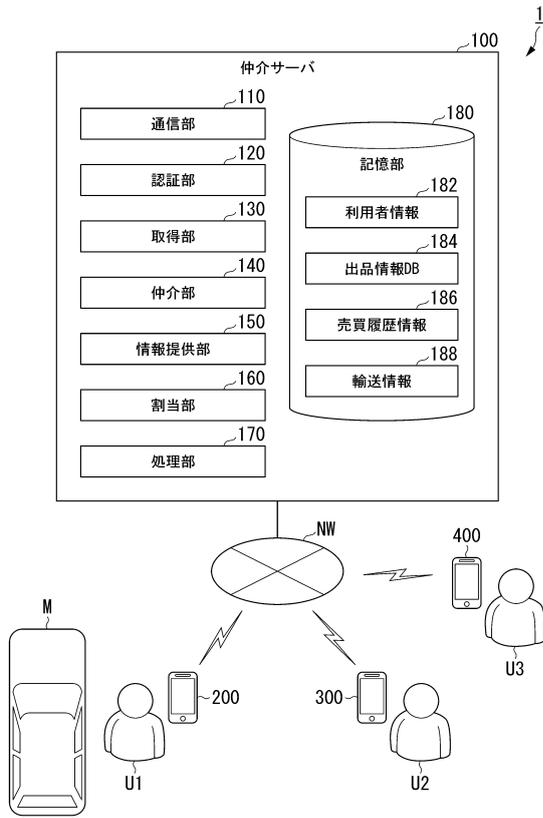
30

40

50

【図面】

【図1】



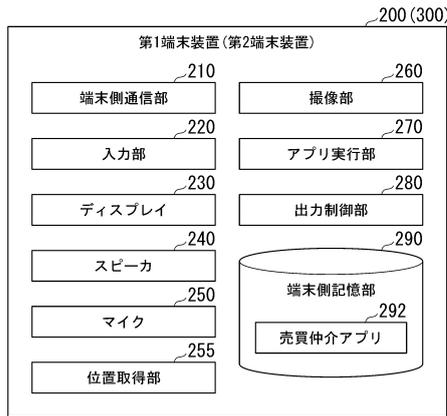
【図2】

...
運転免許情報	重種: 大型 有効期限: 2023年5月15日まで	重種: 普通 有効期限: 2021年6月25日まで	重種: 普通(ATI限定)、大型二輪 有効期限: 2024年7月1日まで
連絡先	××-××××××	××-××××××	××-××××××
性別	男	女	男
年齢	47	36	31
氏名	AA	BB	CC
住所	** ** **	** ** **	** ** **
認証情報
利用者ID / パスワード	** **	** **	** **
利用者ID	0001	0002	0003

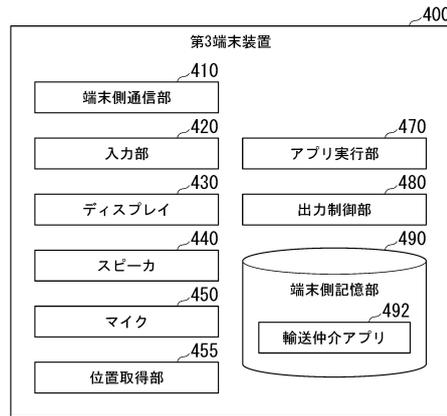
10

20

【図3】



【図4】



30

40

50

【図5】

IM10

出品情報入力画面

出品者ID: G001 A11

車種: *** 年式: 2015年 A12

走行距離: 15,450[km] 色: 赤 A12

外傷度合: 2 IC11

汚損度合: 3 IC11

修復歴: 無し IC12

修復情報登録 IC12

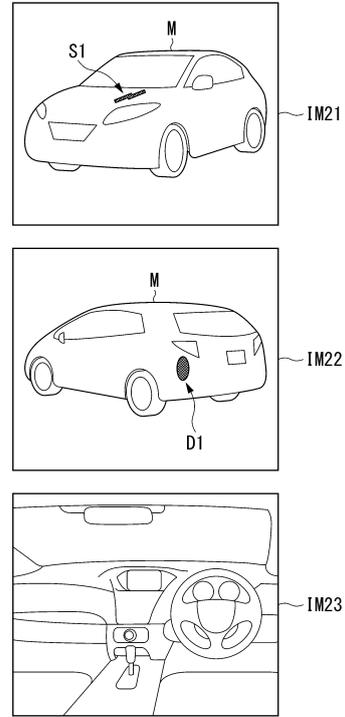
販売希望価格: 70[万円] 売買履歴 IC13

車両の引き渡し地点: *** A13

適用保険情報: *** A13

OK IC14 CANCEL IC15 A14

【図6】



10

20

【図7】

出品者ID		出品車両情報					売買関連情報			出品年月日			
出品ID	車種	年式	走行距離	色	外傷度合	汚損度合	修復歴	修復情報	画像情報	適用保険情報	引き渡し地点	販売価格	年月日
6001	***	2015年	15,450[km]	赤	2	3	なし	-	***	***	***	80[万円]	yyyy/mm/dd
6002	***	2010年	50,120[km]	白	3	5	あり	***	***	***	***	90[万円]	yyyy/mm/dd
...

184

【図8】

IM30

出品車両一覧

出品ID: G001 年式: 2015年 A31

車種: *** 色: 赤 A31

走行距離: 15,450[km] A31a

外傷度合: 2 IC31

汚損度合: 3 IC31

販売価格: 80[万円] IC32

購入 IC32

...

出品ID: G002 年式: 2010年 A31b

車種: *** 色: 白 A31b

走行距離: 50,120[km] A31b

外傷度合: 3 IC31

汚損度合: 5 IC31

販売価格: 90[万円] IC32

購入 IC32

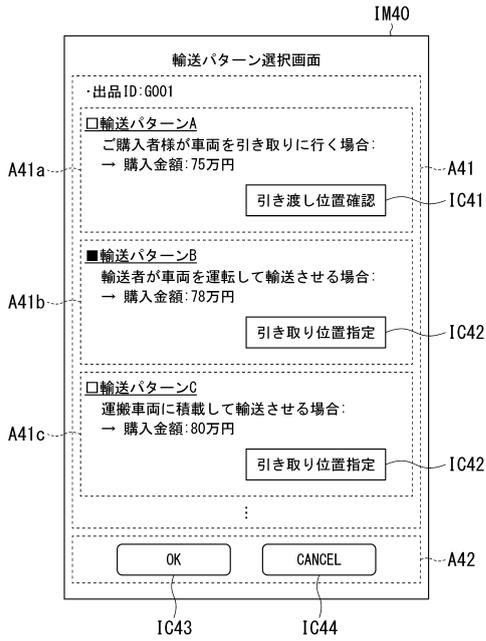
...

終了 IC33 A32

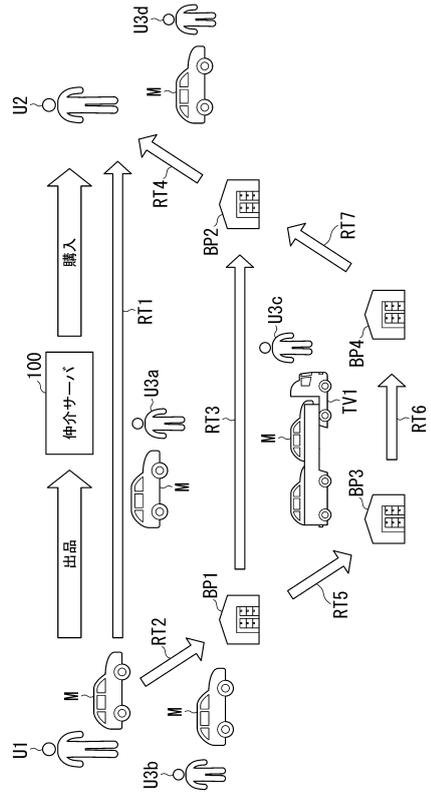
30

40

【図 9】



【図 10】



10

20

【図 11】

186

出品ID	売買車両情報	確定購入価格	売買成立日	適用保険情報	...
G001	***	80[万円]	yyyy/mm/dd	30歳以上	...
G005	***	90[万円]	yyyy/mm/dd	無制限	...
...

【図 12】

188

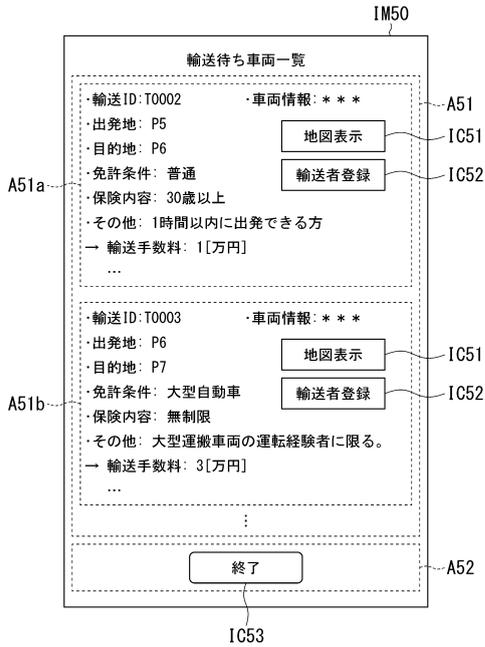
輸送ID	出品ID	売買車両情報	輸送関連情報						輸送完了フラグ	
			出品者指定位置	購入者指定位置	輸送者ID	出発地	目的地	輸送種別		輸送手数料
T0001	G001	***	P1	P2	7705	P1	P2	自走	3[万円]	1
T0002	G005	***	P5	P8	-	P5	P6	自走	1[万円]	0
T0003						P7	P7	積載	3[万円]	0
T0004	P7	P8	自走	1[万円]	0
...

30

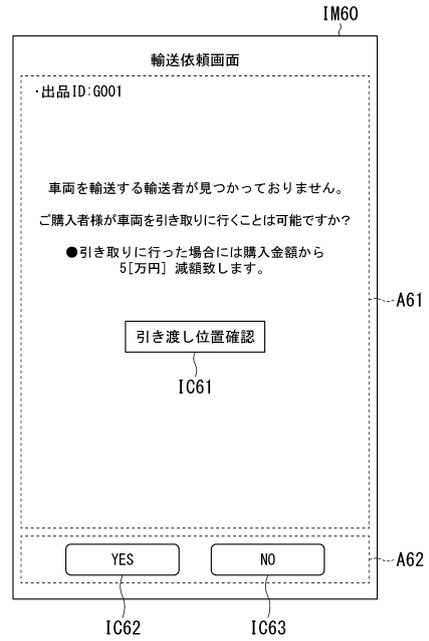
40

50

【図13】



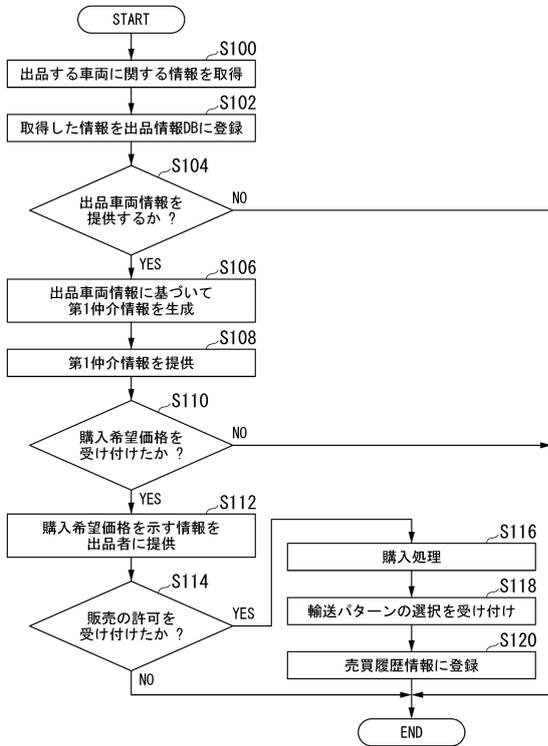
【図14】



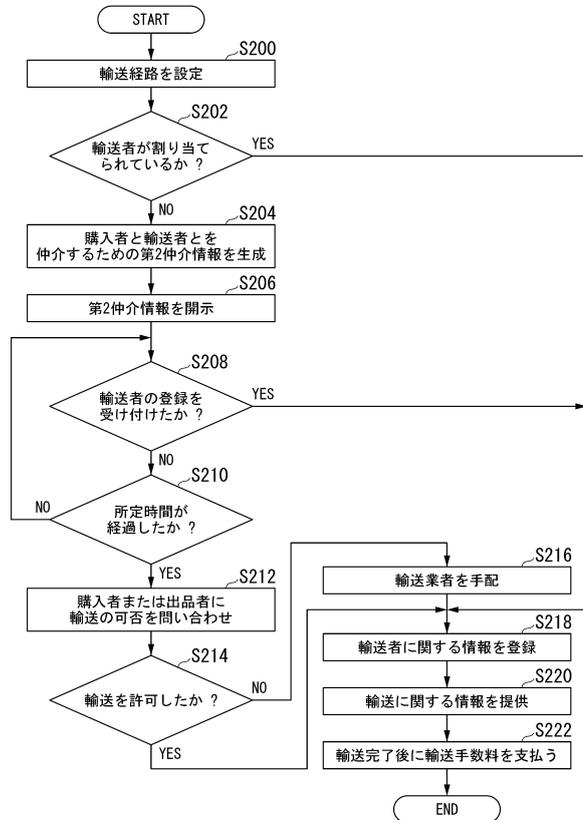
10

20

【図15】



【図16】



30

40

50

フロントページの続き

埼玉県和光市本町 8 丁目 1 番 株式会社ホンダコムテック内

(72)発明者 永野 友治

埼玉県和光市本町 5 丁目 3 9 番 ホンダ開発和光ビル 2 階 株式会社ホンダユーテック内

(72)発明者 種平 大

埼玉県新座市野火止 8 丁目 1 8 番 4 号 株式会社ホンダアクセス内

審査官 新里 太郎

(56)参考文献 特開 2020 - 102088 (JP, A)

特開 2015 - 036843 (JP, A)

特開 2002 - 334286 (JP, A)

特開 2003 - 114986 (JP, A)

特開 2011 - 209817 (JP, A)

米国特許出願公開第 2005 / 0228736 (US, A1)

(58)調査した分野 (Int.Cl., DB名)

G06Q 10/00 - 99/00